

## [概要]

本論文は、富山県富山市の外国人英会話講師を対象に聞き取り調査を実施し、移住先の居住地での日常生活から彼らの生活空間や定住に関する意識について明らかにすることを試みた。その結果①生活空間は交友関係の拡大に伴って拡大していること、②定住意志の有無は居住年数だけではなく、居住地での交友関係の築き方によって左右されることの2点が明らかとなった。来日して間もない頃は近隣で買い物も済ませ、休日にも遠出することはしなかった人がほとんどであったが、友人や知人が増えたことで普段は遠くて行けない場所まで行けたり、知らなかった場所を知る機会が広がり、これが生活空間の拡大につながった。②について、対象者のなかで唯一明確な定住意志を示した人物は、近隣に親しい日本人が住む場所に住んでいたことがきっかけとなり、他の対象者とは異なる友人関係を築いていた。職場だけでなく、近隣住民と密接に関わる機会が増え、これが地域に対する愛着に結びつき、定住意志があるのではないかと考える。